

**令和7年度瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミット
第1回地域課題ワークショップ**

日 時	令和7年7月21日（月・祝） 10:00～16:30 （9:50受付）
場 所	神戸市漁業協同組合須磨浦漁友会集会所、須磨海岸
参加者	神戸市立六甲アイランド高校（3）、兵庫県立御影高校（3）、兵庫県立星陵高校（3）、兵庫県立農業高校（3）、兵庫県立加古川東高校（3）、山陽学園高校（3）、広島県立広島国泰寺高校（2）、兵庫県立尼崎小田高校（17） 生徒37名、教員16名、来賓8名、大学院生等2名 合計63名
内 容	<p>高校生サミットの取組のスタートとして、まず、テーマの共有を目的にワークショップを行った。海からの視点だけの環境でなく、海と山のつながり、環境のつながりの視点で考えていく基礎作りを行った。午前中は海と山のつながりの背景知識を学ぶため「森と海の手ながり」、「神戸の山の活動を通して」、「漁師から神戸の海の問題について」の3つの講義を受けた。</p> <p>午後の須磨海岸での実習では、3班に分かれてそれぞれ3種類の実習（プランクトン採集、砕波帯ネットによる生物採集、セディメントトラップ）を行った。</p> <p>その後、集会所に戻り、各地点での採取の結果を観察・共有し、須磨里海の会会長の吉田様よりまとめの話をいただいた。本日の実習について、グループディスカッションをして振り返りを行った。</p>
生徒の感想	<p>◇漁獲量が年々減少し、価格も上がっていることを知って、将来のために自分たちにはできることはやっていきたいと思いました。</p> <p>◇海と山のつながりがこんなにあったなんて驚きました。山を守ることは海を守ることにもつながることがわかりました。一つのものに集中するのではなく全体的に広く見ることで、解決策が見つかることがあるのかなと思いました。</p>

写 真



プランクトンネット



砕波帯ネット



観 察



ディスカッション・発表

**令和7年度瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミット
第2回地域課題ワークショップ**

日 時	令和7年9月14日（日） 10:00～16:30（9:50受付）
場 所	神戸市漁業協同組合須磨浦漁友会集会所、須磨海岸
参加者	神戸市立六甲アイランド高校（4）、兵庫県立星陵高校（1）、兵庫県立農業高校（3）、 兵庫県立加古川東高校（3）、兵庫県立御影高校（3）、山陽学園高校（3）、 広島県立広島国泰寺高校（2）、兵庫県立尼崎小田高校（14） 生徒33名、教員14名、来賓4名、大学院生1名 合計52名
内 容	須磨海岸での実習では、集会所で須磨里海の会の吉田様から実習についての説明を受け、 3班に分かれてそれぞれ3種類の実習（小形地曳網の曳網・小形地曳網の採取物の選別・漂着 物調査）を3地点で行った。 その後集会所に戻り、須磨里海の会や須磨浦漁友会の方々の指導や助言を仰ぎながら地曳 網による採集物と漂着物の選別作業を実施した。各班の集計を一覧表にまとめると、採集し た場所ごとの特徴、その要因についての説明を受けた。また魚の解剖実習を行い、胃や消化 器官の内容物調査を行い、海洋の環境を考えることができた。 最後には、須磨海岸の変化について、講義を受けた。近年水温の上昇などの影響から、海 底に生息するアオモの減少が見られ、これが海の生態系に悪影響を与えていることを学んだ。
生徒の 感 想	◇漂着物調査から、ゴミが沢山見られたことから、海に捨てられてしまえば簡単に流さ れるのだと改めて実感しました。◇魚の解剖や地引網の回収といった実習とフィールド ワーク的な活動が組み合わされており、楽しみながら参加することが出来ました。考察 や分析の面では自分自身で考えを広げるのに苦戦しました。

写 真



小形地曳網の曳網



砂浜漂着物調査



消化器官内容物調査



ディスカッション・発表

**令和7年度瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミット
第3回地域課題ワークショップ**

日 時	令和7年10月26日(日) 9:55~16:40(9:40受付)
場 所	兵庫県立人と自然の博物館、三田市南公園(ブイブイの森)、武庫川河川敷(平成大橋付近)
参加者	神戸市立六甲アイランド高校(3)、兵庫県立御影高校(3)、兵庫県立星陵高校(2)、兵庫県立農業高校(3)、兵庫県立加古川東高校(2)、兵庫県立尼崎小田高校(15) 生徒28名、教員12名、来賓4名、大学院生2名 合計46名
内 容	<p>午前はブイブイの森での里山実習を行った。実際に里山に入り、竹林や常緑樹林が増加する現状を学び、里山に人がどう関わるべきか考えるよい機会となった。</p> <p>午後は人と自然の博物館で森林土壌学の講義を受け、土壌の形成などについて学んだ。また、館内の見学もあり、午前中の実習で学んだことをより深めることができた。</p> <p>最後にグループディスカッションで本日の学びについて議論し、発表を行った。海からの視点だけでなく、山から環境を考える視点を学ぶことができた。</p>
生徒の感想	<p>◇河川と森の現状を学習して、人の関わり方の難しさを感じた。河川では整備が進みすぎたことで自然の流れが失われ、川底の岩や砂が減少し、生き物のすみかがなくなっていた。また、川が直線になることによって水の勢いが増し、洪水被害がかえって大きくなるという問題もある。一方で森では、人の手が入らなくなったことで常緑樹が成長しすぎ、下の植物が光を受けられず枯れていた。◇様々な分野の知識を繋げて考察を進めていくことの重要性を実感しました。</p>

写 真

	
河川実習(武庫川)	治水について講義
	
里山実習(ブイブイの森)	ディスカッション・発表

**令和7年度 地域課題解決に取り組む高校生サミット～兵庫から日本を考える～
(第15回瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム)**

日 時	令和7年11月15日(土) 10:00～16:30(9:30受付)
場 所	兵庫県立尼崎小田高等学校
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・来校・オンライン参加生徒21校 神戸市立六甲アイランド高校(3)、兵庫県立御影高校(7)、兵庫県立星陵高校(1)、兵庫県立農業高校(4)、兵庫県立加古川東高校(14)、山陽学園高校(1)、兵庫県立伊丹高校(3)、兵庫県立伊丹北高校(1)、西宮市立西宮東高校(3)、兵庫県立三田翔雲館高校(3)、神戸市立科学技術高校(7)、兵庫県立兵庫高校(9)、兵庫県立洲本高校(3)、兵庫県立飾磨工業高校(1)、奈良県立青翔高校(1)、和歌山県立海南高校(5)、福井県立若狭高校(8)、岡山県立岡山工業高校(3)、広島県立広島高校(2)、台湾 国立台南家齊高級中等学校(4) 兵庫県立尼崎小田高校(41) 生徒124名、教員46名、来賓29名、大学院生等1名 合計 200名 (内、オンライン参加者 13名) ・紙面協力校14校
内 容	<p>午前は、各校の課題研究のポスター発表を行った。様々な高校間や、大学、企業、行政の方との交流を行い、課題研究の議論を深めた。</p> <p>午後は「海と山のつながり」をテーマに3つの論題についてのボードディスカッションを行い、地域課題解決のために何ができるか高校生からの「提言」を考え、全体報告会で共有、発信した。</p>
生徒の感想	<p>◇自分が考えもしないものが多くあり、これから研究していく糧としたい。また知らない人とディスカッションすることで自分がどのくらい話せるのか、他の人とどうやって意見をすり合わせていくか等を深く知ることができた。◇里山と里海は深いつながりがあり、里山が豊かになることで里海も豊かになることを改めて実感した。◇助言をくださった先生方や専門家の方の意見や交流を多く行うことができ、自分の知らなかった知識や新しい案、改善点についての理解が深まりこれからの探究活動に活かすことのできる内容を得ることができました。</p>

写 真



ポスターセッション



ボードディスカッション



報告会



集合写真

高大連携フォーラム in 京都大学

日 時	令和7年12月20日(土) 10:30~15:00 (10:00受付)
場 所	京都大学吉田キャンパス 人間・環境学研究科大講義室
参加者	神戸市立六甲アイランド高校(3)、兵庫県立御影高校(8)、兵庫県立星陵高校(4)、 兵庫県立農業高校(6)、広島県立広島国泰寺高校(4)、山陽学園高校(3)、兵庫県立 尼崎小田高校(21) 生徒49名、教員17名、京都大学教授・大学院生等37名 合計103名
内 容	午前に高校生サミットの取組紹介、ポスターセッションを行い、それについて京都大 学の大学院生・大学生と意見交換会を行った。京都大学の学生へ向けて発表を行い、ア ドバイスをいただく貴重な機会となり、課題研究の議論をさらに深めることができた。 午後はこの一年間の高校生サミットの一連の取り組みを振り返り、どの様なことが学 べたか、さらに学びたいことをまとめた。
生徒の 感 想	◇京大生の方々は多角的な視点で、今まで思いつかなかった学びをくれました。今後の 研究に活かしていきたいです。◇自分の班のポスターのフォーマットや分析・考察にお ける問題点を指摘してもらえたことで、今後の探究活動の方針を固めることが出来まし た。◇高校生が地域課題解決に向き合うことに限界があったとしても、そこで得られた 知識や経験が自身の今後に生きてきて、高校生が探究の活動に取り組む意義も生まれて くるのだと思いました。

写 真



ポスターセッション



ポスターセッション



大学生等との意見交換会



一年間の振り返り・報告会